

（仮称）恵庭自然体験・観光まちづくり協議会の設立について

第3期恵庭市観光振興計画において「アウトドアツーリズムの推進」を重点施策の一つに位置付けている。この実現に向け、民間主導の協議会設立を進めており、本報告は、その概要を報告するものです。

1. 設立の目的

計画の柱「アウトドアツーリズムの推進」を担う推進体として、次の理由から設立する。

- 点在する取組を「面」でつなぐ — 個別の自然体験型観光を一体的に推進する受け皿とする
- 民間主導で持続可能な体制をつくる — 事業者自らが担い手となり、自律的な運営を実現する
- 効果を市民・地域へ還元する — 経済活性化・雇用創出につなげる

2. これまでの経過

時期	内容
令和8年（2026年） 3月23日	事業者向けモニターツアー実施（関係事業者11名参加） 市内資源の高いポテンシャルを確認
5月1日～15日	同協議会への観光関係事業者以外の参画意向を把握するため、恵庭工業クラブ会員 企業へアンケートを実施 → 参画・連携を希望する企業を確認
5月26日	意見交換会を開催（関係事業者10名参加） 参加事業者から設立を望む声が多数

※意見交換会では、ガイド育成体制の構築、えにわ湖の持続的活用、企業のSDGs/CSR連携、文化資源との連携、域内経済循環の強化など、民間事業者から主体的・積極的な提案が数多く示された。

3. 体制と主な事業

（1）体制：民間主導を原則とし、次のとおり構成する。

- ① 正会員 — 観光・宿泊・体験・交通事業者、観光協会、商工会議所等
- ② 賛助会員 — 趣旨に賛同し活動を支援する事業者・団体

※ 国・道はオブザーバー、北海道アドベンチャートラベル協議会などの専門団体はアドバイザーとして随時参加

（2）主な事業

- 着地型観光の商品化（モニターツアーによる検証を経たルート・プログラム開発）
- 受入環境の整備（安全管理・ガイド育成等）
- 統一的な情報発信（ホームページ・SNS等）
- 域内経済循環の促進

4. 今後の見通し

時期	内容
令和8年（2026年） 6月下旬～7月上旬	事業計画を策定し、設立総会を開催
7月以降	モニターツアーを2・3回実施（えにわ湖カヌー、えこりん村内の坊主山での文化体験等検討中）

5. 市の関わり

民間主導を原則とし、市は事務局として運営の支援や事業実施に伴う関係機関との協議等を担うことを想定しています。